安全衛生作業シート

ユニット	建築ＣＡＤ基本 建築ＣＡＤ１（平面図） 建築ＣＡＤ２（立面図） 建築ＣＡＤ３（構造図）	分類番号	HU308-0010-1 HU308-0080-2 HU308-1020-2 HU308-1030-2

作業内容	安全衛生作業のポイント
ＶＤＴ作業の安全衛生	・作業環境に配慮すること。 ・照明・採光：必要な所に光が十分行き届くこと。 表示画面等に妨害光線が入ってこないこと。 画面のコントラストを調整すること。 ・騒　　音：騒音は全身の緊張を高め、その結果疲労につながるので極力減らすこと。 ・室　　温：空調機が設置されている場合は、室温を適正に保ち、夏場の冷え過ぎや冬場の暑過ぎなどに注意して室温を調整すること。 ・作業負担の軽減に努めること。 ・目の疲れ：視線の移動、光による刺激を少なくすること。 ・首・手・腕・腰の疲れ ：机、椅子を調整し、正しい姿勢をすること。 ・休止時間：連続ＶＤＴ作業に常時従事する場合は、一連続作業時間が１時間を超えないようにし、次の連続作業時間までの間に10～15分ほどの休業時間を設け、かつ一連続作業時間内において１～２回程度の小休止を設けること。なお、小休止とは１～２分程度の作業休止をいう。 ・休止中は「のび」や「首回し」「肩回し」等体操を励行すること。 ・健康障害に関すること。 ・ＶＤＴ作業によって健康障害を自覚したときは、速やかに担当の指導員に相談すること。 ・コンセント・配線等のケーブル類の整理整頓を徹底すること。 ・結束バンドなどでケーブルを束ねること。 ・床下アクセスフロアや机内の配線空間へケーブルを収納すること。 ・電源タップなどの差込口にほこりがたまっていないか、また差込が十分か確認すること。

災害事例：

・ＶＤＴ症候群
　①　視覚負担症候群：目の疲れ、目の渇き、目の痛み、充血感、ぼやける、視力低下感など
　②　筋骨格系負担症状群：首や肩こり、背中のだるさ、足や腰のだるさなど
　③　精神神経負担症状群：頭痛、めまい、いらいら感、だるさ、食欲不振、過食など
・パソコンやワープロなどのＶＤＴ（視覚表示端末）を導入している事業所で目の疲れ、肩こり等が報告されている。
・コンセント差込口へのほこりの堆積による電気ショート、トラッキング現象、火災。
・ケーブルに足を取られての転倒事故、及び機器の落下事故。

関連情報：
・厚生労働省平成１４年４月５日基発第０４０５００１号「ＶＤＴ作業における労働衛生管理のためのガイドラインについて」